

鳥取県中部の地震の震源断層モデル（矩形断層一様滑りモデル）

SAR（だいち 2 号）及び GNSS で観測された地殻変動から、北北西—南南東走向の高角の断層が左横ずれ的に動いたと推定される。

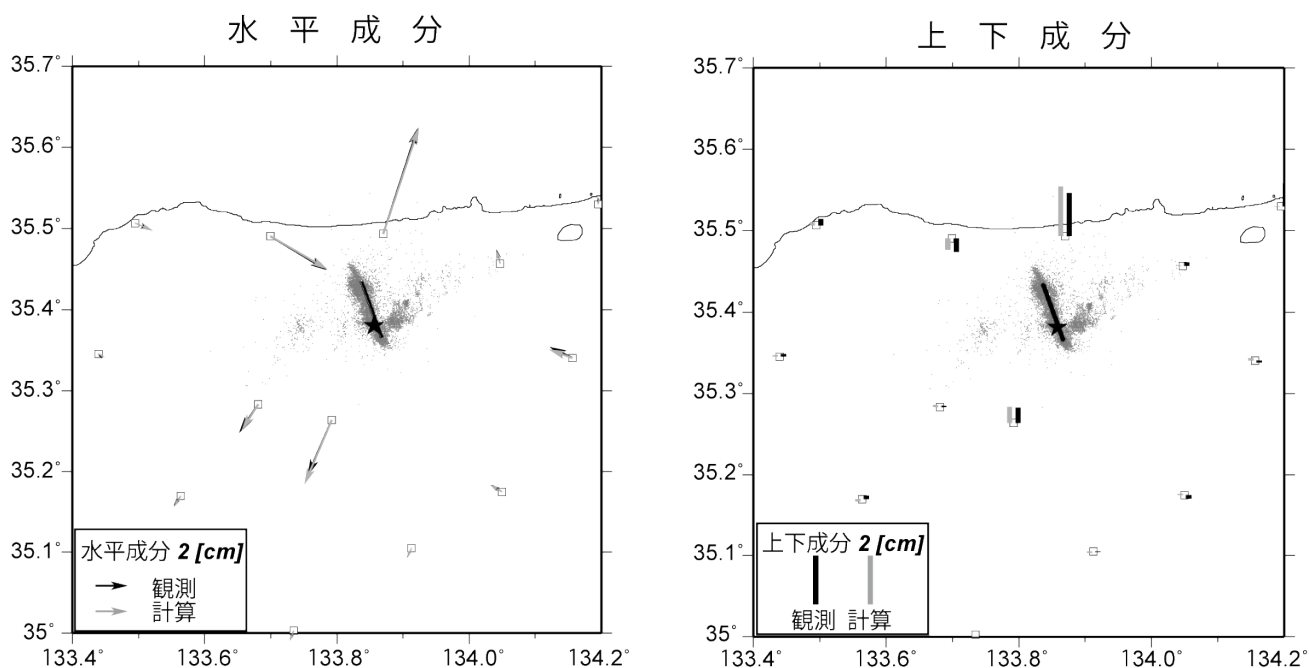


図 1 GNSS データの観測値と計算値。

（左）水平成分、（右）上下成分。実線は断層の上端位置。★印は震源。

灰色点は余震（気象庁一元化震源：2016/10/21～2016/10/27）。

表 1 震源断層パラメータ

経度 [°]	緯度 [°]	上端深さ [km]	長さ [km]	幅 [km]	走向 [°]	傾斜 [°]	滑り角 [°]	滑り量 [m]	M_w
133.838	35.435	2.4	8.1	6.9	160	88	-2	1.3	6.15
(0.007)	(0.004)	(0.6)	(1.2)	(4.0)	(2.0)	(2.6)	(4.2)	(0.2)	

※矩形断層 1 枚での推定結果。位置は断層の左上端を示す。（ ）内は誤差を示す（ 1σ ）。

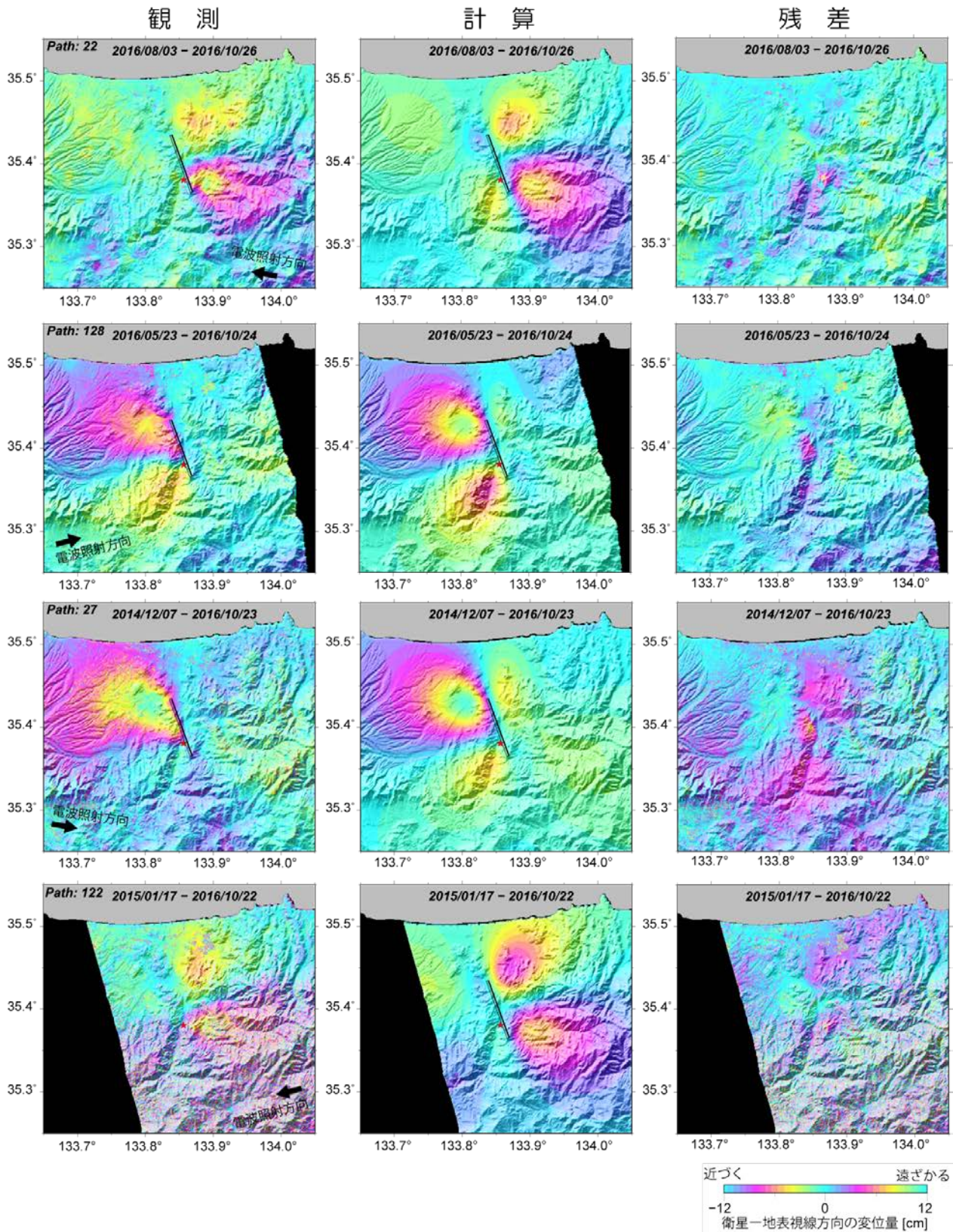


図2 干渉 SAR 画像の（左）観測値、（中）計算値、（右）残差。実線は断層位置。★印は震源。

本研究で用いた ALOS-2 データは、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループを通じて、（国研）宇宙航空研究開発機構（JAXA）から提供を受けました。原初データの所有権は JAXA にあります。